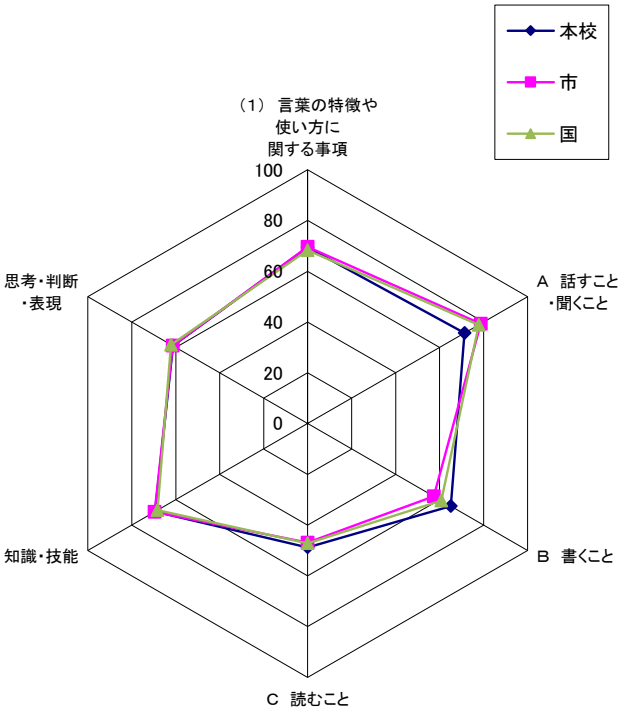
宇都宮市立桜小学校第６学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国，市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	69.4	69.6	68.3
	(2) 情報の扱い方に関する事項			
	(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	A 話すこと・聞くこと	71.3	78.7	77.8
	B 書くこと	65.1	57.3	60.7
	C 読むこと	48.8	46.9	47.2
観点	知識・技能	69.4	69.6	68.3
	思考・判断・表現	61.3	61.4	62.1
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使い方に関する事項	○国の平均正答率を上回っている。 ●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題で，送り仮名もつける漢字の正答率が市や国を下回っている。	・漢字練習の時に，熟語の繰り返し練習だけでなく，文章で漢字を書く練習を取り入れるようにする。
A 話すこと・聞くこと	●市や国の平均正答率を下回っている。	・スピーチの単元において，話の内容が明確になるように，スピーチの構成を考えてメモを作る学習活動を取り入れる。
B 書くこと	○市や国の平均正答率を上回っている。 ○目的や意図に応じて，理由を明確にしながら，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題では，市や国の正答率を10%以上上回っている。	・どのように書いたら説得力のある文章になるのかを考え，文章の構成を工夫したり，理由を明確にしながら自分の考えが伝わるように文章を書いたりする学習活動に，引き続き取り組んでいく。
C 読むこと	○市や国の平均正答率を上回っている。 ○目的を意識して，中心となる語や文を見付けて要約する問題では，市や国の平均正答率を約5ポイント上回っている。	・説明や解説などの文章を比較するなどして読み，分かったことや考えたことを，話し合ったり文章にまとめたりする活動を取り入れながら，継続して学力向上を図っていく。